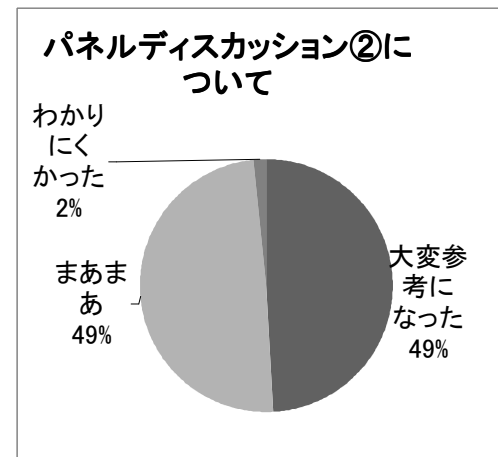
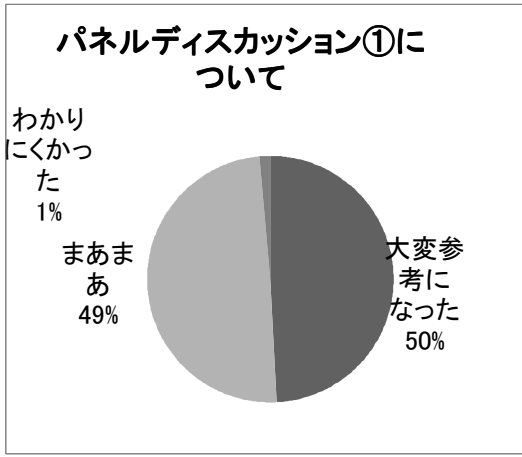
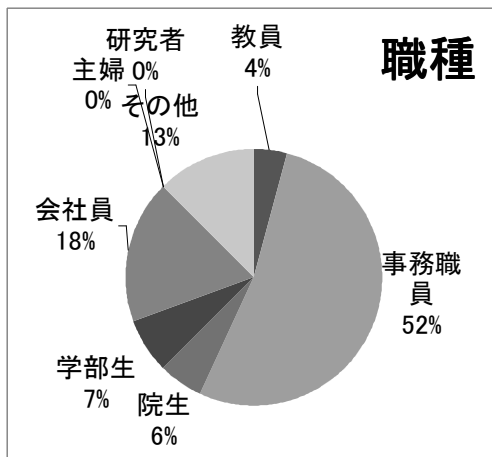
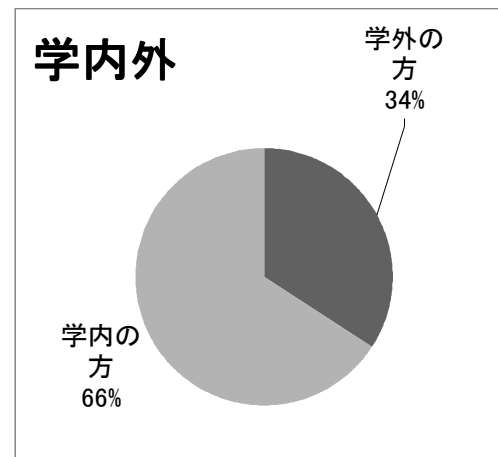
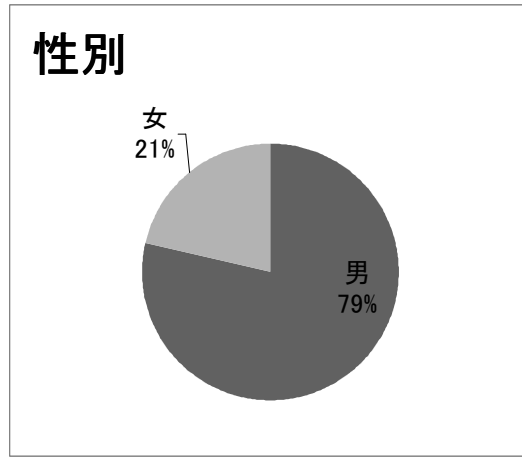
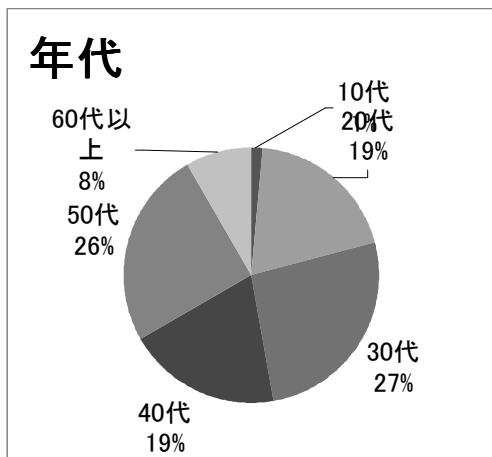


環境報告書2008発行記念シンポジウムアンケート集計結果



パネルディスカッション①「循環型社会におけるキャンパスのあり方～レジ袋削減プロジェクトを出発点として～」興味を持てた点や感想

1	ポストレジ袋	21	尾池先生の話
2	レジ袋の非有料化による削減の意義をもっと広げることの必要性	22	レジ袋を出発点とした次のステップをどの様に対応するかが問題だと思う
3	話としては面白かったが長すぎた。もっと他の問題も話題としてほしかった。	23	資源のシンボル:レジ袋ひとつでも環境への問題へと広がってゆく
4	有料化するときにかかる手間暇を考えれば、同じように手間がかかるなら無料である方がシンプルで良いと思う。日本では強制されなくてもできるということを海外にもアピールしたい。このあたりを日本の売りにできないものか。	24	非有料化でコンビニ業界を取り込めること、尾池氏の「何故レジ袋を削減するのか？」原点に立ち戻って考えるべきとの発言は重要だ。ポスト「レジ袋」についての議論を深めていく必要があると感じた
5	有料にしなくても減ったという結果	25	レジ袋の使用量の多さと取組後の効果(配布率の減少)
6	レジ袋を有料化する方法が必ずしもいい訳ではないという考え方に興味を持ちました。	26	前総長が発現されたように今後多角的な視点で影響などの検証を行ってはどうか？
7	レジ袋削減の意義、困難さについて生の声が聞けて有意義だった。尾池元総長の広報マインドと危機管理意識の一端を伺えて興味深かった。	27	京都大学式の削減方はすばらしいと思います。ただ、レジ袋をもらえないだけではなく、環境保全に対する意義や情報をもっと学生さんに伝える必要があると思いました。
8	「有料化」以外の道を探り関係者の方々の努力で実現した。非常にすばらしい取り組みだと感じます。	28	やはり非有料化という点は評価できると思う。個々人の意識を上げるという観点は重要だ。
9	導入への課題点、実現に至る道程がよく分かりました。	29	レジ袋削減の背景がよくわかり、参考になりました。
10	うちの大学でもやってみたい。	30	取組の意義、尾池元総長のお話が大変興味深かった。
11	以前からレジ袋はもらわないようにしていますがエコとは思っていません。ゴミやコストの削減と思っています。今の石油の使い方ではレジ袋だけではエコにならないと思っています。原油のカスで作るレジ袋をなくしてもだめです。これを初めにもっとエコになる運動になってほしいと思います。ほとんどリサイクルされていない分別もガッカリです。	31	レジ袋削減を通じて意識改革が重要との点に興味を持ちました。レジ袋を何枚削減できたから石油をどれだけ無駄にしなかったのか、その石油で何ができるのかを具体的に公表(発表)して頂ければ更に意識改革が進むのではないのでしょうか。
12	これまでの取組みの紹介で終わってしまった。	32	レジ袋削減の歴史・裏話
13	尾池前総長のエコバッグの衛生面の指摘が一番興味深かった。	33	コストを掛けずに意識改革で実現した点
14	無料のレジ袋削減はとても有意義だと思います。	34	有料化せずに大量削減したことに興味を持てた
15	レジ袋は一定成果が出た(または出つつある)。次の行動を見つけて行く必要。	35	京都大学のレジ袋削減の取り組みがそれ自身が公報の役割も果たしていること
16	ローソンの方の事例は営利企業、不特定多数の客を相手にしているのでご苦労が多かったことがよくわかった。	36	ローソンでのエコポイントの導入は魅力的な案だと思う。生協でレジ袋がなくなったことは知っていたが、その効果を知ることができ非常に参考になった。
17	最後の尾池先生のコメントが今後の広がりを考える上でgoodでした。	37	京大生協のレジ袋削減の方法についてすごいなと思った。
18	レジ袋の削減・エコバッグの推進は環境負荷の削減にあまり効果がないという論調もあります。各個人の意識を高めるには良い方策と考えますが。尾池先生の仰るように、レジ袋を削減する意味を皆で考えていけたらいいなと思います。	38	次への展開に期待します。レジ袋以外への取組みをスピードアップして欲しいと思います。又、レジ袋削減というより0を目指して再取組、再チャレンジしてもらいたいです。
19	エコバッグの衛生問題	39	優先順位。まずどういったことに取り組むのか。
20	レジ袋削減を無料のまま削減することに興味がありました。	40	レジ袋を無料で削減。何のためにレジ袋を減らすのかの論点が必要。

41	京大がレジ袋削減やってるからレジ袋削減はいいのだ！という考えに疑問を持ちつつ「なぜレジ袋削減なのか」を知りたかったから来た。宣伝と聞いて少し残念だった。		
----	--	--	--

パネルディスカッション②「省エネルギー・低炭素化キャンパスへの展開～環境賦課金を出発点として～」興味を持てた点や感想

1	桂キャンパスの省エネ対策。賦課金の単位を部局単位から部屋単位にしたとの提案	18	桂のケースは参考になった。実際に不用な電気を使ってケースがたくさんあるのではないか。
2	尾池前総長の話	19	行政の現状を再認識出来ました
3	京大がいかにかパブリーかよくわかった	20	大変よいと思います。
4	省エネルギー低炭素化も意識改革が重要との点に興味をもちました。エアコンの温度、照明、パソコンの省エネ設定も重要だと思いますが、電力使用量の大きい実験機械の効率的な時間使用も重要なのではないのでしょうか。	21	環境賦課金および環境配慮行動に関する取り組み・背景がわかり参考になった。 24H自習室をめぐる尾池元総長の教育観について大変感銘を受けました。
5	エネルギーに+αで課金しそのお金を環境改善の為に使うというのほとても良いと思いました。	22	課金制度&ドラフト等を消して帰るだけでかなりの省エネになったという結果
6	WEBを使った省エネ方法のアピールはいいと思いました。	23	省エネ、環境への取組内容
7	先進的活動の今後の展開の方向性・あり方等非常に参考になる意見が拝聴できた。	24	規模の小さな団体に応用できる点があるように思う。メーター設置に興味があった。
8	インバーターによる消費電力量の削減はその装置機械工学的メンテナンスが十分でないと適切な効果が得られない。又、装置の寿命を伸ばしターンオーバーの期間の延長が可能となる説明が不足していた。	25	各部局では予算委員会等を設けて支出の大枠を決めていくように思います。賦課金については財務部門への事前に通知が周知されていなかったように思います。少し驚いた記憶があります。末端への周知もお願いします。
9	尾池前総長のコメントがやはり面白く興味深い。	26	桂キャンパスでの取り組み
10	省エネの要になるのはやはり個々人の意識の持ち方にあると思った。	27	ようやく気づいたかな。目出度い人ばかりですね公務員は。
11	現場に行って指導するといった点が今後自部局でも実施できたらと思います。	28	京都市との議論は？個々人の行動は別問題。コンビニの24時間開店問題がよほど気になっているらしい。
12	きっかけは何にしても意識を高める意味でも環境賦課金は良い手法だと思う。国の動きは鈍くても大学が先進的なことをどんどん進めて頂きたい。	29	費用対効果などが重要ですが色々なことにチャレンジされているので参考になりました。ただスピードアップをと思います。
13	24時間自習室(附属図書館)などの指摘が面白いと感じた。	30	少し難しい話で分かりにくい点がありました。
14	省エネの呼びかけにポスターやメールだけでは見る人が少なく、個別指導は私も必要だと思う。24時間の自習室が利用できるシステムは学生の勉強のためにも集団でエアコン等を使う面でも省エネになり良い方法だと思う。	31	環境賦課金は効果がありそうだ。将来は研究室等の各部屋単位でのエネルギー消費量を全学的に把握できる仕組みを構築できたらいいとのことだったが、10億のコストだろうと回収できそうな印象がある。ポトムアップだろうがトップダウンだろうが、大事なのは個人の意識改革だ。
15	具体的な点が見えて来なかった点がまだ策を練る余地は多いように思われた。毎年2%減は大変だと思うが、身の回りから気をつけたい。	32	もう少し環境賦課金の活用に改善に生かされるのかということについて具体的な内容の紹介があれば分かりやすいと感じました。
16	賦課金制度の導入	33	キャンパスグリーン化。廃棄物。桂キャンパス。
17	ソフトで削減できたことについて興味を持ちました。	34	京都大学全体の研究室に電力積算計を10億かけてでも取組むべき重要課題である。

ご意見等

1	大学職員としても個人としても省エネについて考えさせられることが多いシンポジウムでしたが、いくつかよいヒントが得られたように思います。	11	シンポの半分がレジ袋の話であったが、環境問題を考える場合、もっと外に重要問題があるのではないか。ポストレジ袋の話を中心にしてほしい。
2	年に数回報告会等をやりたい	12	今迄の継続とホームページからの発信をよろしく
3	不況下での省エネはピントがずれている。あと3年もすればこの種の議論は下火になると思われ、まったく展望がないと思った。	13	パネルディスカッションが2段構えとなり、論点が広がり過ぎたのではないか。1つのテーマを多角的にとらえた方がアカデミックな感じがする。
4	非常に参考になりました。理学では省エネについてのメールマガジンを送って各教職員に喚起しています。全学的に何かメールでできることを考えてみてはいかがでしょうか。	14	京大だけでなく京都の大学の全体の問題としてごみ減量CO2削減も取り組んでほしいと思います。
5	今回のシンポジウムは学外で環境にかかわる人間にとっては非常に聞きがよいものだったと感じます。今後の対策への意見募集のためにももっと学生・教員に参加して頂くべきかと感じます。特に環境関連の研究を行っている教員、環境活動や研究に取り組む学生を巻き込み、より良い対策を行っていくことを希望します。	15	話にも出ていましたが環境配慮行動の主要なアクターとなる学生をもっと巻き込んでいく必要があるのではと思いました。様々な取り組みがされていることがよく分かりましたが、一部について取り組みに対する必死さに欠けるように思われました。
6	環境に配慮したせいかずっと寒かった。	16	各研究室にここのメーターをつけることが将来的には大学にとって有益だと感じた。
7	頑張っ成果を出しているかの様な報告ですがこれまでがひどすぎたという実態がよく解りました	17	京大は京都市内でも温室効果ガス排出量の大きなウエイトを占めているので今後も先進的な取組みによる削減に努めて話題を提供してほしい
8	大学はすぐに一方向から見て評価したが。しかし裏からも内からも上からも斜めからも見るクセをつけることが課題であると感じる。 尾池先生の話は参考になりました。 「会場は暖房なしですのでご了承下さい」というご案内が欲しかった。	18	教職員、学生の中で、省エネルギーを常に考えている人はごくわずかであるという気がしている（電気はつけ放し、暖房は28℃設定は当たり前）。各個人の意識改革が劇的な効果をもたらすと思う。10億のコストをかけてでも、個別のエネルギー使用量を明らかにして意識を改革すべきではないか。
9	とても参考になる話を聞いてよかったです。私の大学でも環境に対する活動を広めていきたいです。	19	学外であっても詳細版が頂きたかった。
10	学外への展開拡大を。見える化を進めること。過程も含めて展開して地域CDM化してビジネスモデル化できないか。 民間では利益の出ない事業を選択しどんどん捨てていってます。成果に見合うエネルギーを使っているのか？で研究を見直すという大胆な施策も必要ではないでしょうか。	20	宇治事業場で現在耐震改修工事を実施しているが、環境施設部で設計される際研究室単位で電力積算計の設置を考慮願いたい
21	他大学の取組みを調べた結果、千葉大学では大学の環境マネジメントに関わる人材を大学が講義という形で育成し、学生ISO委員会という形で参加を促していることが分かった。また東京大学では、学生会館の改修に際し、エコ改修の発案を環境サークルに依頼したり、「環境の世紀」という全学向け講義の運営を環境サークルが担っていたりしているという。それに引き換え、京大では生協で一部見られるものの、学生・教員・職員の連携が不十分であると言える。 京大に求めたいことは 1 教員や学生が大学の環境管理に積極的に関わられるような場の設定（環境報告書ステイクホルダー委員会は年1回程度で不十分） 2 大学側が環境問題に取り組んでいる教員や学生の行動把握（他大学では報告書に環境系講義一覧、教員の環境研究内容の一覧、学内の学生環境団体の紹介等記載あり）の2点である。 そして他大学の先進事例から学び、京大の先進事例（レジ袋、環境賦課金）を他大学に移植することが重要である。		